



北陸支部・本部共催

2024年(令和6年度)
定期総会

金沢開催

【参加者(敬称略)】

- 3代 亀谷 勉
- 3代 星野 衛
- 4代 村井 孝
- 5代 林 幸治 (北陸支部長)
- 8代 田近 利夫
- 12代 木倉 昭広
- 13代 鵜田 斎
- 14代 樋口 薫
- 16代 佐々木 一彦
- 16代 石川 良昭
- 18代 小林 佳代
- 18代 望月 卓視
- 19代 河上 高宏
- 20代 上出 憲之
- 25代 川原 良和



▲スピーチに立つ
林幸治北陸支部長



原点に立ち返り、そして次世代に

京セラ創業者で実業家の稲盛和夫氏は、「原点を見ずえ、ものごとの本質に立脚した判断こそが、未踏の領域で成功をもたらす」と、原点を見失わないことの大切さを述べています。2年後に創部60周年を迎える専修大学体育会少林寺拳法部にも半世紀を超える歴史と、代を重ねてきたOBOGの思いの「原点」が、そこにあると思います。

2024年(令和6年度)緑拳会定期総会が石川県金沢市で開催されました。今回は令和6年能登半島地震の復興への願いと応援を兼ねるとともに、北陸支部と本部の共催とあつて3代から25代にかけ、15名のOBOGにご参加いただきました。

総会議案は第1号議案から第5号議案まで、事前に頂いた委任状と当日の出席者と、全員の賛同を得て可決しました。

引き続き行われた懇親会では、北陸支部の河上高宏OB、上出憲之OBの司会で、世代を超えて和気あいあいとした懇談。3代・亀谷勉OBから25代・川原良和OBまで各々の近況報告には、およそ20年を隔てても「同じ釜の飯」、あるいは「あの4年間」という眠っていた体内時計が再び動き出し、熱く濃密な時間が流れました。

企業には30年のサイクルがあると言われる。その意味でとらえれば、60周年を迎える我が専大少林寺も、初代からの伝統を継承しながら、時流に即した新陳代謝を図る必要があります。どうかこれからも思いを新たに、会員皆様の手と熱意で次代につないでいってほしいと思います。

緑拳会会長就任にあたり

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2024年度定期総会において、緑拳会第5代会長に任命いただきました。望月卓視(18代/1986年卒業)です。

当会の設立目的である「学生の応援」及び「会員相互の親睦と向上」に向けて精一杯尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

近年、現役部員の成績向上は目覚ましいものがありますが、我々OBOG会の活動も躍進の一翼を担っているものと確信しております。ひとえに会員各位の暖かいご支援の賜物であり、心より御礼を申し上げます。

2026年に迫った創部60周年に向け、次世代の礎となるよう頑張っていくしますので、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

会長 望月 卓視





(左より) 菅波、前村、下田、高橋、小野寺

新入生入部に寄せて

57代主将 杉本 空大

晴れて5名の新入部員を迎え、とても嬉しいと思います。5名ともとても素直でストイックに部活に取り組んでくれて、ありがとうございます。今の新入部員を見ていると、何もかもが新鮮で楽しい風に見えます。お互いの仲もとても良く、その結束は、今後楽しいことも辛いことも一緒に乗り越えてくれるだろうと感じております。主将として私も、新入部員を支えて行きたい所存であります。

新入部員(5名) 氏名・学部学科・(出身校)

入部の理由、そして目標

菅波 雄介 すがなみ ゆうすけ (2年次)
ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科
(八王子実践高等学校)

自分が少林寺拳法部に入った理由は二つあります。一つ目は、大事な人を守るために精神と肉体共に鍛えたいとおもったからです。二つ目は、たくさん迷惑をかけた自分を受け入れ、さまざまなことを教えてくれた先輩方のようになりたいと思ったからです。

目標は、一つ一つの自分のできることを懸命に行い、大会でよい結果を残すこと、仲間と協力し悔いのない大学生活にすることです。これらの目標を叶えられるように、精一杯頑張ります。

前村 安璃 まえむら あんり
経営学部ビジネスデザイン学科
(東葉高等学校 / 千葉県)

私が少林寺拳法を初めて知ったのは、新入生勧誘で先輩に声をかけていただいた時でした。入学当初は、自分が部活に入るとは思いもしなかったのですが、体験の際に見せていただいた演武の迫力に圧倒されたことと、先輩方の人柄に魅力を感じ、入部を決めました。

この部活動で私は、大会での上位入賞を目指します。また、この1年間は将来後輩に対して正しい指導ができるように先輩方から多くのことを吸収したいです。

下田梨菜 しもだ りな
ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科
(千葉県立成東高等学校)

私が少林寺拳法部に入部した理由は二つある。一つ目は、少林寺拳法部の先輩に憧れを抱いたからだ。部活動・サークル紹介の際に出会った少林寺拳法部の女性の先輩に目を奪われ、私もあの先輩のように凛々しくかっこよくなりたいと思ったことがきっかけだ。二つ目は、武道が好きだからだ。高校まで剣道をしていた私は新しい武道に挑戦してみたいと思ったのである。

少林寺拳法部での目標は誰をも魅了するような拳士になることだ。勝負強さだけでなく、立ち振る舞いの美しさで、見ている人を魅了する拳士になる。

高橋 駿介 たかはし しゅんすけ
ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科
(専修大学附属北上高等学校)

自分は武術を経験したことがなく武術に興味を持ち少林寺拳法に入部しました。武術の経験はありませんが、その技術や精神を学びたく思っています。少林寺拳法を通じて自己成長を図りたいと考えています。

自分の目標は、黒帯の取得と関東大会での5位以内を目指すことです。そのために、日々の練習に全力で取り組み、技術と精神を磨いていきたいと考えています。

小野寺 康太 おのでら こうた
法学部法律学科 (神奈川県立有馬高等学校)

私が少林寺拳法部に入部した理由は、高校生の頃に始めた少林寺拳法を大学生になっても続けたいと思ったからです。私が高校の少林寺拳法部に入部した時は、新型コロナウイルスが猛威を振るい平常時に比べ活動の多くに制限が課せられていたため、少林寺拳法の奥深さを十分に感じる事が出来ませんでした。そのため、この部活で少林寺拳法の奥深さを知りたいと思い入部しました。

今後は、立合評価法に力を入れて専修大学の名に恥じる事のないよう精進していきたい限りです。

OBOG・現役 合同練習会

6月23日、生田キャンパス
第一体育館にて

各大会で活躍する現役演武を間近に

約20名のOBOGが参加



毎年、関東学生大会、全日本学生大会をはじめとした各大会で好成績を収める現役の、気合のこもった演武も間近に

新入生歓迎会と同日の6月23日、専修大学生田キャンパスにて、OBOG・現役合同練習会が開催されました。今回、OBOGの参加者は約20名。新入生歓迎会、幹部交代式と同日開催が定着した合同練習会は、回を重ねるごとに参加者の数を増しています。



初代・水野好夫OB(前列中央)を交え、合同練習後の記念撮影



北陸支部・上出憲之OB (右)の案内で金沢市内を観光、そして日本海に面した内灘町まで足を延ばし、震災被害の惨状を垣間見たという小林OG

石川県復興の応援を兼ねて金沢市で定期総会を開催する、という通知が届きました。ついでに観光もしてよいかと半分行く気になった私は、ほかに誰か行かないかなと同期の望月くんにもメールで尋ねてみました。返信を見てびっくり。「出席します。総会で会長に推挙されることになっています」とあったからです。同期としてその場に立ち会わなければ！完全に総会参加を決めた私は、抜かりなく観光の下調べもしたうえで金沢に向かいました。

総会を経て新会長も無事就任。その後の懇親会と二次会では、北陸支部の大先輩方から能登半島地震の被災状況なども含め、近況を伺うことができました。大学時代の交友関係が今なお続いていること、年のせいであちこち痛いと言いながらそれぞれの故郷で地域のために活躍されていることを知り、ただただ敬服しました。

翌朝、上出くん(20代)がわざわざ休暇を取って、車でホテルまで迎えに来てくれました。四十年ぶりの先輩後輩のツーショットで観光開始。上出くんは金沢市観光課にいただけあってルートも説明も完璧。昼食は金沢港まで足を延ばして「魚処厚生食堂」で刺身定食を堪能しました。時間に余裕ができたので上出くんからの提案を受け、地震で甚大な被害があったという内灘町の様子を見に行くことにしました。車の中から見ただけでも被害の深刻さが伝わります。液状化現象で大きく傾いた家々。玄関には危険性を色分けした紙が貼り付けてあります。テレビで見た能登半島の惨状が内灘町にも広がっていました。

「石川県復興の応援」として私にできることがあるのでしょうか。上出くんとは別れた後、せめてもの応援になればと思い、私は金沢駅で石川県の銘菓をいくつも買い足して帰路に着きました。

専修大学体育会OBOG会幹事長として、専大スポーツ発展に尽力

合掌 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、6月30日開催の2024年度緑拳会定期総会で緑拳会会長を退任いたしました。在任中は公私にわたり、格別のご厚情ご指導を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

今後、立場は変わりますが、相談役として微力ながら緑拳会の発展に努めてまいります。

また、今年度からあらたに就任した専修大学体育会OBOG会の幹事長として、少林寺拳法部はもとより専大スポーツ全般の発展に精進していく所存です。

まずは略儀ながら書中をもちまして御礼と退任のご挨拶を申し上げます。

前会長／相談役
樋口 薫 OB(14代)



結手

【専修大学体育会少林寺拳法部 緑拳会】

会 長 望月 卓視(18代) **新任**
副会長 鵜田 斎(13代)
平田 和輝(56代) **新任**
現役支援部 部長 児玉 一平(38代)
広報部 部長 川原 良和(25代)
財務部 部長 藤本 彩奈(49代) **新任**
組織運営部 部長 佐々木 一彦(16代)
事務局 部長 石川 良昭(16代)
名誉会長 星野 衛(3代)
顧問 水野 好夫(初代)
相談役 樋口 薫(14代) **新任**
監 査 市川(居村) 沙紀(47代)

【専修大学体育会少林寺拳法部】

部 長 松原 朗(国際コミュニケーション学部教授)
監 督 河原井 敦(18代)
コーチ 渡慶次 道瑠(49代) **新任**
村本 司(53代) **新任**

新しい布陣で、60周年に向けて

緑拳会役員会では、運営方針や活動計画を話し合うミーティングを概ね月1回行っています。現在の執行部は強力なチームであるものの、年齢的には60歳代が中心となっており、若手OBOGの補強が課題です。その意味で平田副会長、藤本財務部長、渡慶次コーチ、村本コーチの4名のスタッフが新たに仲間に加わってくれたことは、非常に頼もしく大いに活躍してくれることを期待しております。

専大少林寺飛躍の後押し、そして創部60周年に向けて、新しい布陣で取り組んで参ります。応援の程よろしくお願い申し上げます。

(会長 望月 卓視)

財務部長(新任)

緑拳会を通じた 交流も楽しみたい

藤本 彩奈 OG(49代)



この度、望月先輩より会計業務を引き継ぐことになりました49代藤本と申します。

財務部長というOBOGの皆様の大変な緑拳会費を管理する責任のあるお仕事に任命して頂き、身が引き締まる思いです。

皆様からお預かりしている会費を、専修大学体育会少林寺拳法部の現役学生サポートと今後の部の発展の為、有意義に使用出来るよう責任を持って管理する所存です。

不慣れなことも多く至らぬ点が多くあるとは思いますが、現役部員の活躍を応援し、OGとして自分にできることを努めて参ります。また、緑拳会の活動を通して、現役学生や先輩方、同期・後輩、さらに他大学の方などとお話しする機会があると思いますので、そのような交流も楽しんで活動していきたいと思っています。

今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

副会長(新任)

専大大学院に在籍 現役と近い関係に

平田 和輝 OB(56代)



この度、新たに緑拳会副会長を務めさせていただくことになりました、56代の平田和輝と申します。

卒業後間もなくというタイミングで、かつ大学院で研究に励む身でありながら、副会長に任命いただきましたことは、畏れ多いと同時に光栄に存じます。現在、大学院生として継続して専修大学にいますため、現役部員と関わりやすい立場にあります。そのため学生を支援・応援していくことは勿論のこと、「学生との距離の近さ」を活かし、緑拳会の活動や役員会へ積極的に参加する若手OBOGの増加に貢献していく所存です。

専修大学ならびに専大少林寺拳法部の更なる発展に向けて尽力いたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新コーチ就任

この度2名のOBがコーチに就いてくれることになりました。

両名とも道院で修練を続ける現役拳士であり、卒業後の大会でも成績を残している実力者です。指導体制の強化で部員たちの一層の活躍をご期待いただきたいと思います。

監督 河原井 敦 (18代)

渡慶次 道瑠 OB(49代)

とけいじ みちる

このたび、コーチに就任することとなりました、49代の渡慶次 道瑠と申します。歴史あるこの部において指導のお手伝いをさせていただくこととなり、大変光栄に存じます。これまでの経験と知識を生かし、部員一人ひとりの成長をサポートし、部活全体の強化に努めて参ります。また、少林寺拳法は単なるスポーツや武道ではなく「人づくりの行」でありますので、少林寺拳法の目指す慈悲心と勇気と正義感を持った、心身共に成長した人間の人材育成の一助になれば幸いです。

OBOGの皆様との連携を大切にし、部の伝統と誇りを守りつつ、新たな目標に向かって邁進して参る所存です。緑拳会の皆様には、これからも温かいご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

村本 司 OB(53代)

むらもと つかさ

この度コーチを務めさせていただくこととなりました、53代の村本であります。

今後はコーチとして現役部員と接していきませんが、杉本主将以下の現部員は、真面目に修練に励んでおり非常に頼もしい限りです。そんな彼らの技術向上を助け、また学生大会では部員が、より良い成績を残せるようこれまでの経験を生かし精一杯コーチとして部員を指導致します。

また指導者として、少林寺拳法の拳士として先輩である河原井監督、渡慶次コーチに遅れを取らぬようにしつつ、両先輩とも密に連携をとり、部員が修練に心置きなく励めるよう全力でサポートする所存です。至らぬ点多々あるかは存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

結手



今年6月16日に本山で特別昇格試験を受け、四段を習得いたしました。

また、7月20日に結婚し、ヨコハマグラウンドインターコンチネンタルホテルにて拳式しました。

